

ごみ処理基本計画中間案新旧対照表

頁	現 行	頁	改正案																																																														
8	表 3-2 生活排出ごみの排出・収集方法 <table><tr><th colspan="2">種類・区分</th><th>排出方法</th><th>収集回数</th></tr><tr><td colspan="4">(省略)</td></tr><tr><td rowspan="10">資源物</td><td rowspan="6">古紙</td><td>新聞紙</td><td rowspan="2">ひもで縛る</td><td rowspan="11">※月 2 回</td></tr><tr><td>雑誌</td></tr><tr><td>雑がみ</td><td>ひもで縛る・紙袋</td></tr><tr><td>段ボール</td><td rowspan="2">ひもで縛る</td></tr><tr><td>牛乳パック類</td></tr><tr><td>古着</td><td rowspan="4">透明・半透明の袋</td></tr><tr><td colspan="2">飲料缶</td></tr><tr><td colspan="2">ガラスびん</td></tr><tr><td colspan="2">ペットボトル</td></tr><tr><td colspan="4">(省略)</td></tr></table> 注) ※印は原則ステーションに排出する。	種類・区分		排出方法	収集回数	(省略)				資源物	古紙	新聞紙	ひもで縛る	※月 2 回	雑誌	雑がみ	ひもで縛る・紙袋	段ボール	ひもで縛る	牛乳パック類	古着	透明・半透明の袋	飲料缶		ガラスびん		ペットボトル		(省略)				8	表 3-2 生活排出ごみの排出・収集方法 <table><tr><th colspan="2">種類・区分</th><th>排出方法</th><th>収集回数</th></tr><tr><td colspan="4">(省略)</td></tr><tr><td rowspan="10">資源物</td><td rowspan="6">古紙</td><td>新聞紙</td><td rowspan="2"><u>白い紙</u>ひもで縛る</td><td rowspan="11">※月 2 回</td></tr><tr><td>雑誌</td></tr><tr><td>雑がみ</td><td><u>白い紙</u>ひもで縛る・紙袋</td></tr><tr><td>段ボール</td><td rowspan="2"><u>白い紙</u>ひもで縛る</td></tr><tr><td>牛乳パック類</td></tr><tr><td>古着</td><td rowspan="4">透明・半透明の袋</td></tr><tr><td colspan="2">飲料缶</td></tr><tr><td colspan="2">ガラスびん</td></tr><tr><td colspan="2">ペットボトル</td></tr><tr><td colspan="4">(省略)</td></tr></table> 注) ※印は原則ステーションに排出する。	種類・区分		排出方法	収集回数	(省略)				資源物	古紙	新聞紙	<u>白い紙</u> ひもで縛る	※月 2 回	雑誌	雑がみ	<u>白い紙</u> ひもで縛る・紙袋	段ボール	<u>白い紙</u> ひもで縛る	牛乳パック類	古着	透明・半透明の袋	飲料缶		ガラスびん		ペットボトル		(省略)			
種類・区分		排出方法	収集回数																																																														
(省略)																																																																	
資源物	古紙	新聞紙	ひもで縛る	※月 2 回																																																													
		雑誌																																																															
		雑がみ	ひもで縛る・紙袋																																																														
		段ボール	ひもで縛る																																																														
		牛乳パック類																																																															
		古着	透明・半透明の袋																																																														
	飲料缶																																																																
	ガラスびん																																																																
	ペットボトル																																																																
	(省略)																																																																
種類・区分		排出方法	収集回数																																																														
(省略)																																																																	
資源物	古紙	新聞紙	<u>白い紙</u> ひもで縛る	※月 2 回																																																													
		雑誌																																																															
		雑がみ	<u>白い紙</u> ひもで縛る・紙袋																																																														
		段ボール	<u>白い紙</u> ひもで縛る																																																														
		牛乳パック類																																																															
		古着	透明・半透明の袋																																																														
	飲料缶																																																																
	ガラスびん																																																																
	ペットボトル																																																																
	(省略)																																																																
9	(省略) ③ 処理できないもの 処理できない生活排出ごみは、次のとおりです。 ■ オートバイ、ピアノ等販売店や専門業者に適正な処理を依頼するもの ■ <u>ペンキ</u>、廃油等処理施設に支障を及ぼすおそれのあるもの	9	(省略) ③ 処理できないもの 処理できない生活排出ごみは、次のとおりです。 ■ <u>消火器</u>、<u>オートバイ</u>等広域認定制度で処理を行うものや、<u>ピアノ</u>等販売店や専門業者に適正な処理を依頼するもの ■ <u>シンナー</u>、<u>在宅医療用注射針</u>、<u>廃油</u>等処理施設に支障を及ぼすもの																																																														

頁	現 行	頁	改正案								
11	3) 事業系ごみ 排出者は、廃棄物処理法の規定に基づき廃棄物の減量に努め、分別を徹底し、資源再生事業者等を活用して積極的に再資源化に取り組むものとしています。ただし、自ら処理できない場合は、春日井市一般廃棄物収集運搬許可業者（又は再生事業者）に運搬を依頼するか、クリーンセンターへ直接搬入することとしています。 なお、クリーンセンターは、一般廃棄物処理施設であるため、産業廃棄物及び市外の廃棄物は搬入することができません。	11	すおそれのあるもの 3) 事業系ごみ 排出者は、廃棄物処理法の規定に基づき廃棄物の減量に努め、分別を徹底し、資源再生事業者等を活用して積極的に再資源化に取り組むものとして<u>いるため、資源化できる古紙等はクリーンセンターへ搬入できません。</u>ただし、自ら処理できない場合は、春日井市一般廃棄物収集運搬許可業者（又は再生事業者）に運搬を依頼するか、クリーンセンターへ直接搬入することとしています。 なお、クリーンセンターは、一般廃棄物処理施設であるため、産業廃棄物及び市外の廃棄物は搬入することができません。								
	(3) 処理状況 生活排出ごみ及び事業系ごみは、表 3-4 のとおり処理しています。 表 3-4 ごみ処理 <table><tr><th>区分</th><th>処理・資源化方法等</th></tr><tr><td>(省略)</td><td>(省略)</td></tr></table>		区分	処理・資源化方法等	(省略)	(省略)	(3) 処理状況 生活排出ごみ及び事業系ごみは、表 3-4 のとおり処理しています。 表 3-4 ごみ処理 <table><tr><th>区分</th><th>処理・資源化方法等</th></tr><tr><td>(省略)</td><td>(省略)</td></tr></table>	区分	処理・資源化方法等	(省略)	(省略)
	区分		処理・資源化方法等								
(省略)	(省略)										
区分	処理・資源化方法等										
(省略)	(省略)										

頁	現 行		頁	改正案	
	資源物	(省略) ・プラスチック製容器包装は、中間処理業者に持ち込まれ、選別・圧縮・梱包を行い、 <u>容器包装リサイクル協会ルート</u> で資源化が行われます。		資源物	(省略) ・プラスチック製容器包装やペットボトルは、選別・圧縮・梱包を行い、 <u>公益財団法人日本容器包装リサイクル協会</u> で資源化が行われます。 ・ <u>金属類は、再生業者に引き渡します。</u>
13	4		13	4	
	2) 清掃事業所（収集・運搬） 清掃事業所は、表 3-5 のとおり収集・運搬車両の保管施設、収集・<u>運搬事務拠点</u>として鷹来町地内に開設しました。保有車両は、2018（平成 30）年 4 月現在ダンプ車 6 台、パッカー車 30 台、その他の車両 1 台となっています。			※駅の□マークを横長にしました。 2) 清掃事業所（収集・運搬） 清掃事業所は、表 3-5 のとおり収集・運搬車両の保管施設、収集・<u>運搬拠点</u>として鷹来町地内に開設しました。保有車両は、2018（平成 30）年 4 月現在ダンプ車 6 台、パッカー車 30 台、その他の車両 1 台となっています。	

頁	現 行	頁	改正案
16	5) 公益財団法人愛知臨海環境整備センター（略称：ASEC） 表 3-8 当市から ASEC への搬出量等 （表省略） ※ 1：平成 22 年度は名古屋港南 5 区の埋立終了に伴い、搬出を行わなかった。	16	5) 公益財団法人愛知臨海環境整備センター（略称：ASEC） 表 3-8 当市から ASEC への搬出量等 （表省略） ※ 1：2010（平成 22）年度は名古屋港南 5 区の埋立終了に伴い、搬出を行わなかった。
18	③ 資源化 （省略） 資源化量の内訳は、ごみステーションを利用した行政収集、子ども会・学校等が行う集団回収、クリーンセンター処理分の破碎鉄・溶融スラグ等があります。 平成 25 年度以降、行政収集、集団回収ともに古紙類、特に新聞の収集量が減少しています。これは、スマートフォンなどの情報端末が普及したことによる活字離れや民間事業者が設置する古紙回収コンテナボックスの増加による古紙排出先の選択肢が増えたことにより、当市が収集できる資源の量が減少したと考えられます。 なお、2017（平成 29）年 4 月に灰溶融設備を休止したことにより、スラグの生産を行わなくなりましたが、代わりに、焼却灰のセメントリサイクルの外部委託について、量を増やしました。 注 3-6）資源化率＝ごみ総排出量÷（行政収集量＋集団回収量＋クリーンセンター処理分）×100	18	③ 資源化 （省略） 資源化量の内訳は、ごみステーションを利用した資源物収集、子ども会・学校等が行う集団回収、クリーンセンター処理分の破碎鉄・溶融スラグ等があります。 2013（平成 25）年度以降、資源物収集、集団回収ともに古紙類、特に新聞の収集量が減少しています。これは、スマートフォンなどの情報端末が普及したことによる活字離れや民間事業者が設置する古紙回収コンテナボックスの増加による古紙排出先の選択肢が増えたことにより、当市が収集できる資源の量が減少したと考えられます。 なお、2017（平成 29）年 4 月に灰溶融設備を休止したことにより、スラグの生産を行わなくなりましたが、代わりに、焼却灰のセメント原料化量を増やしました。 注 3-6）資源化率＝ごみ総排出量÷（資源物量＋集団回収量＋クリーンセンター処理分）×100

頁	現 行	頁	改正案
19	図 3-6 資源化量の推移	19	図 3-6 資源化量の推移 ※グラフ中の行政収集を資源物へ変更しました。
21	3) 中間処理 (省略) また、第 1・2 工場の処理能力に対し現状の処理量は下回り、主に第 2 工場で運用している状況ですが、第 2 工場の整備・点検、災害時などに備えた運営を行っています。	21	3) 中間処理 (省略) また、第 1・2 工場の処理能力に対し現状の処理量は下回り、主に第 2 工場で運用している状況ですが、<u>第 1 工場については、第 2 工場の整備・点検、災害時などに備えた運営を行っています。</u>
23	(2) ごみ処理経費 一般廃棄物処理実態調査（環境省）により算出された、当市の 2008（平成 20）年度から <u>2016（平成 28）年度</u> までの 1 人あたりのごみ処理経費は、表 3-10 及び図 3-12 のとおりです。	23	(2) ごみ処理経費 一般廃棄物処理実態調査（環境省）により算出された、当市の 2008（平成 20）年度から <u>2017（平成 29）年度</u> までの 1 人あたりのごみ処理経費は、表 3-10 及び図 3-12 のとおりです。

頁	現 行	頁	改正案																																																																																				
	表 3-10 1 人あたりごみ処理経費の推移 <table><tr><th>年度</th><th>人口 (人)</th><th>総排出量 (t/年)</th><th>ごみ処理経費 (円/人・年)</th></tr><tr><td>2008（平成 20）年度</td><td>307, 052</td><td>118, 823</td><td>14, 338</td></tr><tr><td>2009（平成 21）年度</td><td>307, 442</td><td>104, 611</td><td>13, 642</td></tr><tr><td>2010（平成 22）年度</td><td>307, 718</td><td>101, 264</td><td>13, 396</td></tr><tr><td>2011（平成 23）年度</td><td>308, 451</td><td>104, 597</td><td>13, 487</td></tr><tr><td>2012（平成 24）年度</td><td>308, 981</td><td>104, 182</td><td>13, 450</td></tr><tr><td>2013（平成 25）年度</td><td>309, 658</td><td>99, 647</td><td>17, 246 (13, 516)</td></tr><tr><td>2014（平成 26）年度</td><td>310, 347</td><td>98, 742</td><td>13, 740</td></tr><tr><td>2015（平成 27）年度</td><td>311, 112</td><td>98, 688</td><td>13, 497</td></tr><tr><td>2016（平成 28）年度</td><td>311, 748</td><td>96, 215</td><td>13, 286</td></tr></table> 出典：愛知県廃棄物処理事業実態調査（人口：各年度の 10 月 1 日時点） ※総排出量は、2008（平成 20）年度から 2010（平成 22）年度は、ごみ総排出量から集団回収と家電 4 品目を引いた値で、2011（平成 23）年度以降は家電 4 品目を引いた値です。	年度	人口 (人)	総排出量 (t/年)	ごみ処理経費 (円/人・年)	2008（平成 20）年度	307, 052	118, 823	14, 338	2009（平成 21）年度	307, 442	104, 611	13, 642	2010（平成 22）年度	307, 718	101, 264	13, 396	2011（平成 23）年度	308, 451	104, 597	13, 487	2012（平成 24）年度	308, 981	104, 182	13, 450	2013（平成 25）年度	309, 658	99, 647	17, 246 (13, 516)	2014（平成 26）年度	310, 347	98, 742	13, 740	2015（平成 27）年度	311, 112	98, 688	13, 497	2016（平成 28）年度	311, 748	96, 215	13, 286		表 3-10 1 人あたりごみ処理経費の推移 <table><tr><th>年度</th><th>人口 (人)</th><th>総排出量 (t/年)</th><th>ごみ処理経費 (円/人・年)</th></tr><tr><td>2008（平成 20）年度</td><td>307, 052</td><td>118, 823</td><td>14, 338</td></tr><tr><td>2009（平成 21）年度</td><td>307, 442</td><td>104, 611</td><td>13, 642</td></tr><tr><td>2010（平成 22）年度</td><td>307, 718</td><td>101, 264</td><td>13, 396</td></tr><tr><td>2011（平成 23）年度</td><td>308, 451</td><td>104, 597</td><td>13, 487</td></tr><tr><td>2012（平成 24）年度</td><td>308, 981</td><td>104, 182</td><td>13, 450</td></tr><tr><td>2013（平成 25）年度</td><td>309, 658</td><td>99, 647</td><td>17, 246 (13, 516)</td></tr><tr><td>2014（平成 26）年度</td><td>310, 347</td><td>98, 742</td><td>13, 740</td></tr><tr><td>2015（平成 27）年度</td><td>311, 112</td><td>98, 688</td><td>13, 497</td></tr><tr><td>2016（平成 28）年度</td><td>311, 748</td><td>96, 215</td><td>13, 286</td></tr><tr><td><u>2017（平成 29）年度</u></td><td><u>311, 540</u></td><td><u>94, 733</u></td><td><u>12, 368</u></td></tr></table> 出典：愛知県廃棄物処理事業実態調査（人口：各年度の 10 月 1 日時点） ※総排出量は、2008（平成 20）年度から 2010（平成 22）年度は、ごみ総排出量から集団回収と家電 4 品目を引いた値で、2011（平成 23）年度以降は家電 4 品目を引いた値です。	年度	人口 (人)	総排出量 (t/年)	ごみ処理経費 (円/人・年)	2008（平成 20）年度	307, 052	118, 823	14, 338	2009（平成 21）年度	307, 442	104, 611	13, 642	2010（平成 22）年度	307, 718	101, 264	13, 396	2011（平成 23）年度	308, 451	104, 597	13, 487	2012（平成 24）年度	308, 981	104, 182	13, 450	2013（平成 25）年度	309, 658	99, 647	17, 246 (13, 516)	2014（平成 26）年度	310, 347	98, 742	13, 740	2015（平成 27）年度	311, 112	98, 688	13, 497	2016（平成 28）年度	311, 748	96, 215	13, 286	<u>2017（平成 29）年度</u>	<u>311, 540</u>	<u>94, 733</u>	<u>12, 368</u>
年度	人口 (人)	総排出量 (t/年)	ごみ処理経費 (円/人・年)																																																																																				
2008（平成 20）年度	307, 052	118, 823	14, 338																																																																																				
2009（平成 21）年度	307, 442	104, 611	13, 642																																																																																				
2010（平成 22）年度	307, 718	101, 264	13, 396																																																																																				
2011（平成 23）年度	308, 451	104, 597	13, 487																																																																																				
2012（平成 24）年度	308, 981	104, 182	13, 450																																																																																				
2013（平成 25）年度	309, 658	99, 647	17, 246 (13, 516)																																																																																				
2014（平成 26）年度	310, 347	98, 742	13, 740																																																																																				
2015（平成 27）年度	311, 112	98, 688	13, 497																																																																																				
2016（平成 28）年度	311, 748	96, 215	13, 286																																																																																				
年度	人口 (人)	総排出量 (t/年)	ごみ処理経費 (円/人・年)																																																																																				
2008（平成 20）年度	307, 052	118, 823	14, 338																																																																																				
2009（平成 21）年度	307, 442	104, 611	13, 642																																																																																				
2010（平成 22）年度	307, 718	101, 264	13, 396																																																																																				
2011（平成 23）年度	308, 451	104, 597	13, 487																																																																																				
2012（平成 24）年度	308, 981	104, 182	13, 450																																																																																				
2013（平成 25）年度	309, 658	99, 647	17, 246 (13, 516)																																																																																				
2014（平成 26）年度	310, 347	98, 742	13, 740																																																																																				
2015（平成 27）年度	311, 112	98, 688	13, 497																																																																																				
2016（平成 28）年度	311, 748	96, 215	13, 286																																																																																				
<u>2017（平成 29）年度</u>	<u>311, 540</u>	<u>94, 733</u>	<u>12, 368</u>																																																																																				

頁	現 行	頁	改正案
	図 3-12 1 人あたりごみ処理経費の推移	図 3-12 1 人あたりごみ処理経費の推移	
24	ごみ処理の評価と課題 (1) ごみ処理基本計画 1) 前計画の目標値と実績値 (省略) ① 1 人 1 日当たりごみ排出量 (省略) 事業系ごみが増加傾向を続けていることから、2016（平成 28）年度までは目標値を下回っていましたが、2017（平成 29）年度は実績値が目標値を上回り、2021 年度の目標達成には更なる<u>努力</u>が必要です。	24	ごみ処理の評価と課題 (1) ごみ処理基本計画 1) 前計画の目標値と実績値 (省略) ① 1 人 1 日当たりごみ排出量 (省略) 事業系ごみが増加傾向を続けていることから、2016（平成 28）年度までは目標値を下回っていましたが、2017（平成 29）年度は実績値が目標値を上回り、2021 年度の目標達成には更なる<u>減量</u>が必要です。

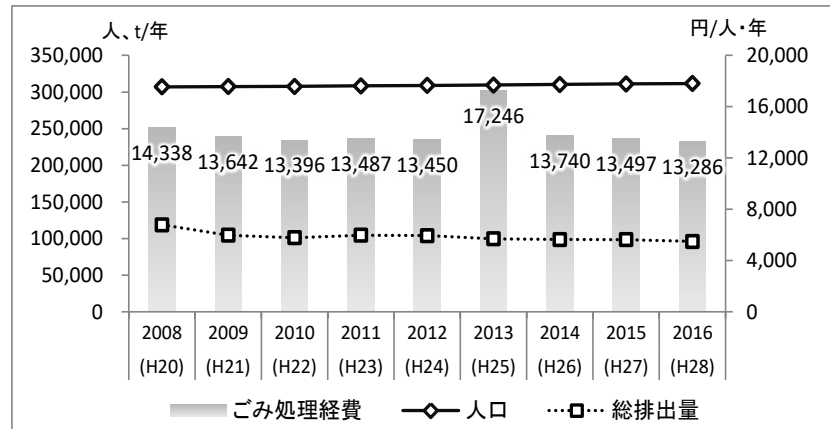


図 3-12 1 人あたりごみ処理経費の推移

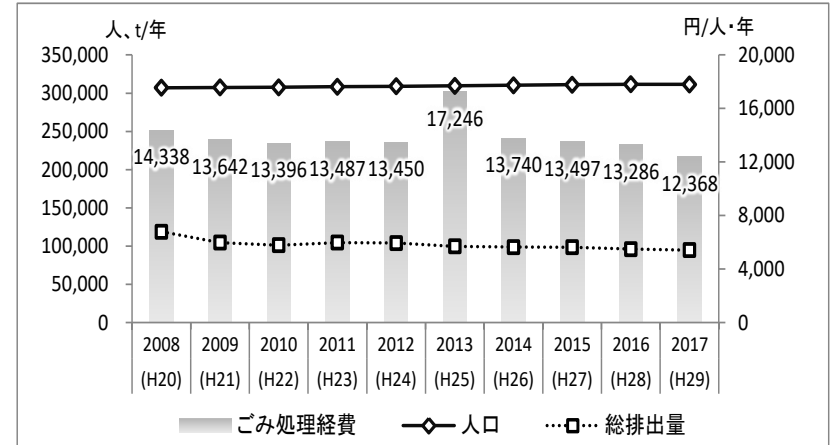
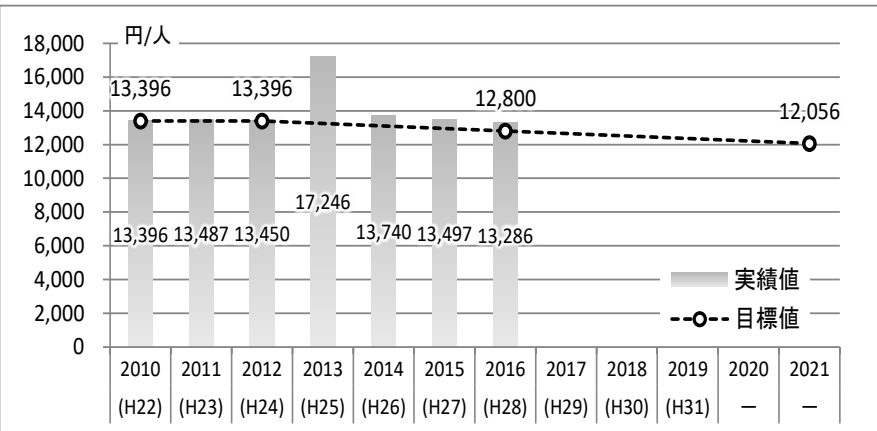
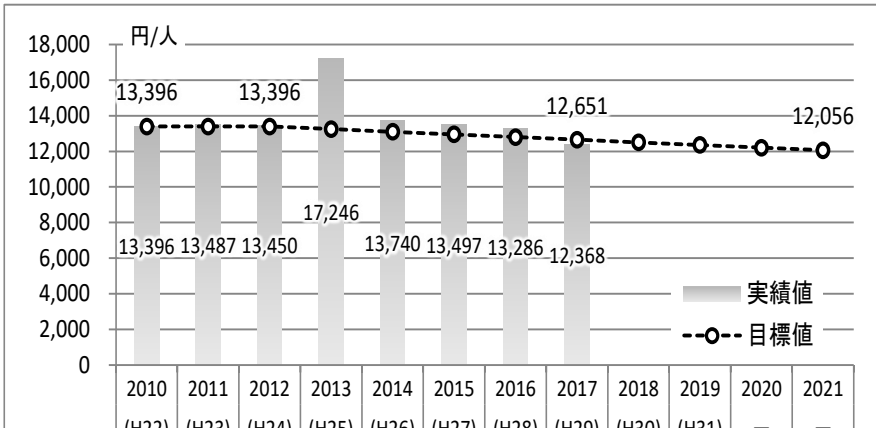


図 3-12 1 人あたりごみ処理経費の推移

※2017 年を入れました。

頁	現 行	頁	改正案
26	⑤ ごみ処理費 ごみ処理費の目標値と実績値の推移は、図 3-17 のとおりです。 ごみ処理費は、2013（平成 25）年度に内津北山最終処分場新設の土地を購入したため一時的に増加しましたが、概ね減少傾向で推移しています。しかし、2016（平成 28）年度は、実績値が目標値を上回り、2021 年度の目標達成には更なる努力が必要です。  図 3-17 ごみ処理費の目標値と実績値	26	⑤ ごみ処理費 ごみ処理費の目標値と実績値の推移は、図 3-17 のとおりです。 ごみ処理費は、2013（平成 25）年度に内津北山最終処分場の土地を購入したため一時的に増加しましたが、概ね減少傾向で推移しています。2017（平成 29）年度は、灰溶融設備を休止したことにより、初めて実績値が目標値を下回りましたが、2021 年度の目標達成には更なる努力が必要です。  図 3-17 ごみ処理費の目標値と実績値 ※2017 年を入れました。
27	2）愛知県内自治体との比較 （省略） また、ごみ処理費については 2016（平成 28）年度については、灰溶融炉の稼働に係る維持管理費等によりごみ処理費が県内平	27	2）愛知県内自治体との比較 （省略） また、ごみ処理費については、灰溶融炉の稼働に係る維持管理費等によりごみ処理費が県内平均より高いと考えられます。

頁	現 行	頁	改正案																																												
	均より高いと考えられます。 表 3-12 愛知県内自治体平均値との比較 <table><tr><th rowspan="2">項目</th><th rowspan="2">資源化率 (%)</th><th colspan="2">1 人 1 日 当 たり ご み 排 出 量 (g/人・日)</th><th rowspan="2">1 人 当 たり 年間ごみ 処理費 (円)</th></tr><tr><th>総排出量</th><th>処理すべき ごみ量</th></tr><tr><td>県内市町村 村平均値</td><td>22.1</td><td>927</td><td>752</td><td>12,399</td></tr><tr><td>当市 2016 (平成 28) 年度</td><td>20.0</td><td>847</td><td>706</td><td>13,286</td></tr><tr><td>当市 2017 (平成 29) 年度</td><td>19.1</td><td>834</td><td>707</td><td>二</td></tr></table> 注 1) 処理すべきごみ量は、総排出量から行政収集及び集団回収の資源物を除いたもの 注 2) 処理経費は、建設・改良費を除いたもの	項目	資源化率 (%)	1 人 1 日 当 たり ご み 排 出 量 (g/人・日)		1 人 当 たり 年間ごみ 処理費 (円)	総排出量	処理すべき ごみ量	県内市町村 村平均値	22.1	927	752	12,399	当市 2016 (平成 28) 年度	20.0	847	706	13,286	当市 2017 (平成 29) 年度	19.1	834	707	二		表 3-12 愛知県内自治体平均値との比較 <table><tr><th rowspan="2">項目</th><th rowspan="2">資源化率 (%)</th><th colspan="2">1 人 1 日 当 たり ご み 排 出 量 (g/人・日)</th><th rowspan="2">1 人 当 たり 年間ごみ 処理費 (円)</th></tr><tr><th>総排出量</th><th>処理すべき ごみ量</th></tr><tr><td>県内市町村 村平均値</td><td>22.1</td><td>927</td><td>752</td><td>12,399</td></tr><tr><td>当市 2016 (平成 28) 年度</td><td>20.0</td><td>847</td><td>706</td><td>13,286</td></tr><tr><td>当市 2017 (平成 29) 年度</td><td>19.1</td><td>834</td><td>707</td><td><u>12,368</u></td></tr></table> 注 1) 処理すべきごみ量は、総排出量から資源物及び集団回収を除いたもの 注 2) 処理経費は、建設・改良費を除いたもの	項目	資源化率 (%)	1 人 1 日 当 たり ご み 排 出 量 (g/人・日)		1 人 当 たり 年間ごみ 処理費 (円)	総排出量	処理すべき ごみ量	県内市町村 村平均値	22.1	927	752	12,399	当市 2016 (平成 28) 年度	20.0	847	706	13,286	当市 2017 (平成 29) 年度	19.1	834	707	<u>12,368</u>
項目	資源化率 (%)			1 人 1 日 当 たり ご み 排 出 量 (g/人・日)			1 人 当 たり 年間ごみ 処理費 (円)																																								
		総排出量	処理すべき ごみ量																																												
県内市町村 村平均値	22.1	927	752	12,399																																											
当市 2016 (平成 28) 年度	20.0	847	706	13,286																																											
当市 2017 (平成 29) 年度	19.1	834	707	二																																											
項目	資源化率 (%)	1 人 1 日 当 たり ご み 排 出 量 (g/人・日)		1 人 当 たり 年間ごみ 処理費 (円)																																											
		総排出量	処理すべき ごみ量																																												
県内市町村 村平均値	22.1	927	752	12,399																																											
当市 2016 (平成 28) 年度	20.0	847	706	13,286																																											
当市 2017 (平成 29) 年度	19.1	834	707	<u>12,368</u>																																											
28	3) 一般廃棄物処理システム評価 当市と人口及び産業構造が類似する全国の特例市 35 市^{注 3-11}のごみ処理の実績を、市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール^{注 3-12}を用いて評価を行い、その結果は図 3-18 及び表 3-13 の	28	3) 一般廃棄物処理システム評価 当市と人口が類似する全国の特例市 35 市^{注 3-11}のごみ処理の実績について、評価条件等を表 3-13 のとおりとし、市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール^{注 3-12}を用いて評価を行いました																																												

頁	現 行	頁	改正案																							
	とおりです。また、評価するに当たっての条件等は表 3-14 のとおりです。なお、評価に用いた実績値は最新年度版である 2015（平成 27）年度の数値です。 （省略） この結果から<u>も、愛知県内市町村の平均値と同様に、資源の収集量が少ないため、1 人 1 日当たりのごみ総排出量は良い結果であるのに対して、資源化率は同程度であり、</u>ごみ処理費については、灰溶融炉の稼働に係る維持管理費等がごみ処理費を増加させていると考えられます。 <table><caption>図 3-18 一般廃棄物処理システム評価</caption><thead><tr><th>項目</th><th>春日井市</th><th>特例市平均</th></tr></thead><tbody><tr><td>1人1日当たりごみ総排出量</td><td>109.6</td><td>100</td></tr><tr><td>資源回収率</td><td>101.4</td><td>100</td></tr><tr><td>最終処分される割合</td><td>123.1</td><td>100</td></tr><tr><td>1人あたり処理費用</td><td>74.4</td><td>50</td></tr><tr><td>最終処分減量に要する費用</td><td>57.5</td><td>50</td></tr></tbody></table> 図 3-18 一般廃棄物処理システム評価	項目	春日井市	特例市平均	1人1日当たりごみ総排出量	109.6	100	資源回収率	101.4	100	最終処分される割合	123.1	100	1人あたり処理費用	74.4	50	最終処分減量に要する費用	57.5	50	た。その結果は表 3-14 及び図 3-18 のとおりです。なお、評価に用いた実績値は最新年度版である 2015（平成 27）年度の数値です。 （省略） この結果から、愛知県内市町村の平均値<u>に対して、資源化率は同程度ですが、1 人 1 日当たりのごみ総排出量は良い結果となっています。ごみ処理費については、灰溶融炉の稼働に係る維持管理費等がごみ処理費を増加させていると考えられますが、既に灰溶融炉は 2017（平成 29）年 4 月に稼働を休止しております。</u> 表 3-13 類似（比較対象）都市の条件 <table><thead><tr><th>項目</th><th>春日井市</th><th>類似都市</th></tr></thead><tbody><tr><td>人口 (2015（平成 27）年 10 月 1 日現在)</td><td>311,112 人</td><td>特例市</td></tr></tbody></table>	項目	春日井市	類似都市	人口 (2015（平成 27）年 10 月 1 日現在)	311,112 人	特例市
項目	春日井市	特例市平均																								
1人1日当たりごみ総排出量	109.6	100																								
資源回収率	101.4	100																								
最終処分される割合	123.1	100																								
1人あたり処理費用	74.4	50																								
最終処分減量に要する費用	57.5	50																								
項目	春日井市	類似都市																								
人口 (2015（平成 27）年 10 月 1 日現在)	311,112 人	特例市																								

頁	現 行						頁	改正案					
29	表 3-13 評価指標						29	表 3-14 評価指標					
	指標	1 人 1 日 当たりごみ 総排出量 (kg/人・ 日)	廃棄物から の 資源回収率 (RDF 除く) (t/t) 注 3-13	廃棄物のう ち最終処分 される割合 (t/t)	1 人当たり 年間処理経 費 (円/人・ 年)	最終処分減 量に要する 費用 (円/t)		指標	1 人 1 日 当たりごみ 総排出量 (kg/人・ 日)	廃棄物から の 資源回収率 (RDF 除く) (t/t) 注 3-13	廃棄物のう ち最終処分 される割合 (t/t)	1 人当たり 年間処理経 費 (円/人・ 年)	最終処分減 量に要する 費用 (円/t)
	平均	0.959	0.196	0.083	10,586	30,891		平均	0.959	0.196	0.083	10,586	30,891
	最大	1.243	0.317	0.145	16,916	54,296		最大	1.243	0.317	0.145	16,916	54,296
	最小	0.792	0.100	0.004	5,487	16,895		最小	0.792	0.100	0.004	5,487	16,895
	標 準 偏差	0.110	0.053	0.039	2,389	8,315		標 準 偏差	0.110	0.053	0.039	2,389	8,315
	当 市 実績	0.867	0.199	0.064	13,301	44,012		当 市 実績	0.867	0.199	0.064	13,301	44,012
	評 価 指 数 値	109.6	101.4	123.1	74.4	57.5		評 価 指 数 値	109.6	101.4	123.1	74.4	57.5
	実 績 の 優 劣	低いほど優	高いほど優	低いほど優	低いほど優	低いほど優		実 績 の 優 劣	低いほど優	高いほど優	低いほど優	低いほど優	低いほど優

頁

現 行

表 3-14 類似（比較対象）都市の条件

項目		春日井市	類似都市
人口 (2015（平成 27）年 10 月 1 日現在)		311,112 人	特例市
産業構造	Ⅱ次・Ⅲ次人口比率	99.3%	抽出条件なし
	Ⅲ次人口比率	68.8%	

30

（2）ごみ処理の課題

1）排出抑制

図 3-19 のとおり、2013（平成 25）年度の分別区分変更により、家庭系ごみは減少し、資源・集団回収量は一時的に増加しました。その後、資源・集団回収量は減少し、家庭系ごみ排出量は横ばいで推移していますが、事業系ごみは増加傾向にあります。(省略)

頁

改正案

1人1日当たりごみ総排出量

109.6

100

50

0

最終処分減量に要する費用

57.5

資源回収率

101.4

123.1

最終処分される割合

74.4

1人あたり処理費用

春日井市

特例市平均

図 3-18 一般廃棄物処理システム評価

30

（2）ごみ処理の課題

1）排出抑制

図 3-19 のとおり、2013（平成 25）年度の分別区分変更により、家庭系ごみは減少し、資源物・集団回収量は一時的に増加しました。その後、資源物・集団回収量は減少し、家庭系ごみ排出量は横ばいで推移していますが、事業系ごみは増加傾向にあります。(省略)

頁	現 行	頁	改正案																																																																																							
	<table border="1"><thead><tr><th>Year</th><th>Household waste (t/year)</th><th>Business waste (t/year)</th><th>Resource/Group recycling (t/year)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2008 (H20)</td><td>71,979</td><td>34,747</td><td>16,510</td></tr><tr><td>2009 (H21)</td><td>70,059</td><td>22,792</td><td>15,747</td></tr><tr><td>2010 (H22)</td><td>69,124</td><td>20,647</td><td>15,554</td></tr><tr><td>2011 (H23)</td><td>69,579</td><td>20,085</td><td>14,948</td></tr><tr><td>2012 (H24)</td><td>70,086</td><td>19,511</td><td>14,599</td></tr><tr><td>2013 (H25)</td><td>61,093</td><td>19,426</td><td>19,143</td></tr><tr><td>2014 (H26)</td><td>60,865</td><td>19,844</td><td>18,050</td></tr><tr><td>2015 (H27)</td><td>61,015</td><td>20,526</td><td>17,164</td></tr><tr><td>2016 (H28)</td><td>60,007</td><td>20,222</td><td>16,000</td></tr><tr><td>2017 (H29)</td><td>59,815</td><td>20,569</td><td>14,364</td></tr></tbody></table> 図 3-19 ごみ排出量の推移	Year	Household waste (t/year)	Business waste (t/year)	Resource/Group recycling (t/year)	2008 (H20)	71,979	34,747	16,510	2009 (H21)	70,059	22,792	15,747	2010 (H22)	69,124	20,647	15,554	2011 (H23)	69,579	20,085	14,948	2012 (H24)	70,086	19,511	14,599	2013 (H25)	61,093	19,426	19,143	2014 (H26)	60,865	19,844	18,050	2015 (H27)	61,015	20,526	17,164	2016 (H28)	60,007	20,222	16,000	2017 (H29)	59,815	20,569	14,364	<table border="1"><thead><tr><th>Year</th><th>Household waste (t/year)</th><th>Business waste (t/year)</th><th>Resource/Group recycling (t/year)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2008 (H20)</td><td>71,979</td><td>34,747</td><td>16,510</td></tr><tr><td>2009 (H21)</td><td>70,059</td><td>22,792</td><td>15,747</td></tr><tr><td>2010 (H22)</td><td>69,124</td><td>20,647</td><td>15,554</td></tr><tr><td>2011 (H23)</td><td>69,579</td><td>20,085</td><td>14,948</td></tr><tr><td>2012 (H24)</td><td>70,086</td><td>19,511</td><td>14,599</td></tr><tr><td>2013 (H25)</td><td>61,093</td><td>19,426</td><td>19,143</td></tr><tr><td>2014 (H26)</td><td>60,865</td><td>19,844</td><td>18,050</td></tr><tr><td>2015 (H27)</td><td>61,015</td><td>20,526</td><td>17,164</td></tr><tr><td>2016 (H28)</td><td>60,007</td><td>20,222</td><td>16,000</td></tr><tr><td>2017 (H29)</td><td>59,815</td><td>20,569</td><td>14,364</td></tr></tbody></table> 図 3-19 ごみ排出量の推移 ※資源を資源物へ変更しました。	Year	Household waste (t/year)	Business waste (t/year)	Resource/Group recycling (t/year)	2008 (H20)	71,979	34,747	16,510	2009 (H21)	70,059	22,792	15,747	2010 (H22)	69,124	20,647	15,554	2011 (H23)	69,579	20,085	14,948	2012 (H24)	70,086	19,511	14,599	2013 (H25)	61,093	19,426	19,143	2014 (H26)	60,865	19,844	18,050	2015 (H27)	61,015	20,526	17,164	2016 (H28)	60,007	20,222	16,000	2017 (H29)	59,815	20,569	14,364
Year	Household waste (t/year)	Business waste (t/year)	Resource/Group recycling (t/year)																																																																																							
2008 (H20)	71,979	34,747	16,510																																																																																							
2009 (H21)	70,059	22,792	15,747																																																																																							
2010 (H22)	69,124	20,647	15,554																																																																																							
2011 (H23)	69,579	20,085	14,948																																																																																							
2012 (H24)	70,086	19,511	14,599																																																																																							
2013 (H25)	61,093	19,426	19,143																																																																																							
2014 (H26)	60,865	19,844	18,050																																																																																							
2015 (H27)	61,015	20,526	17,164																																																																																							
2016 (H28)	60,007	20,222	16,000																																																																																							
2017 (H29)	59,815	20,569	14,364																																																																																							
Year	Household waste (t/year)	Business waste (t/year)	Resource/Group recycling (t/year)																																																																																							
2008 (H20)	71,979	34,747	16,510																																																																																							
2009 (H21)	70,059	22,792	15,747																																																																																							
2010 (H22)	69,124	20,647	15,554																																																																																							
2011 (H23)	69,579	20,085	14,948																																																																																							
2012 (H24)	70,086	19,511	14,599																																																																																							
2013 (H25)	61,093	19,426	19,143																																																																																							
2014 (H26)	60,865	19,844	18,050																																																																																							
2015 (H27)	61,015	20,526	17,164																																																																																							
2016 (H28)	60,007	20,222	16,000																																																																																							
2017 (H29)	59,815	20,569	14,364																																																																																							
	2) 資源化 図 3-20 のとおり、当市がステーションなどから収集する資源の量は、分別区分の変更を行った 2013（平成 25）年度をピークとして年々減少しており、2017（平成 29）年度の行政収集量はピーク時の約 3 分の 2 まで減少しています。この減少した資源のほとんどは古紙類ですが、市の把握できない排出先で古紙が資源化されていると考えられます。	2) 資源化 図 3-20 のとおり、当市がステーションなどから収集する資源物の量は、分別区分の変更を行った 2013（平成 25）年度をピークとして年々減少しており、2017（平成 29）年度の資源物量はピーク時の約 3 分の 2 まで減少しています。この減少した資源のほとんどは古紙類ですが、市の把握できない排出先で古紙が資源化されていると考えられます。																																																																																								

頁	現 行	頁	改正案
31	図 3-20 資源化の推移	31	図 3-20 資源化の推移 ※行政収集を資源物へ変更しました。
35	目標 3 事業系ごみを 1,012 トン削減 (省略) 目標 5 1 人当たりごみ処理費用 10%削減 1 人当たりごみ処理費用を、<u>2016 (平成 28) 年度の 13,286 円</u> に対して 2028 年度は 10%削減します。(建設・改良費を除いた	35	目標 3 事業系ごみ排出量を 1,012 トン削減 (省略) 目標 5 1 人当たりごみ処理費用 10%削減 1 人当たりごみ処理費用を、<u>2017 (平成 29) 年度の 12,368 円</u> に対して 2028 年度は 10%削減します。(建設・改良費を除いた

頁	現 行					頁	改正案				
36	ものとしします。)					36	ものとしします。)				
	表 4-1 計画期間における目標						表 4-1 計画期間における目標				
	目 標	項目	目標	実績値	目標値		目 標	項目	目標	実績値	目標値
				2017 (平成 29)	2028 —					2017 (平成 29)	2028 —
	(省略)						(省略)				
5	1 人当 たりごみ処 理費用 (円/人・ 年)	2017 (平成 29) 年 度に対して 10%削 減	13,286 円	11,957 円	5	1 人当 たりごみ処 理費用 (円/人・ 年)	2017 (平成 29) 年 度に対して 10%削 減	<u>12,368 円</u>	<u>11,131 円</u>		

頁

37

現 行

表 4-2 ごみ排出量の予測（目標達成時）

項目・年度		単位	実績値		継続		施策実施
					予測値		
			2010 (H22)	2017 (H29)	2023 —	2028 —	2028 —
計画収集人口		人	307,718	311,293	311,293	309,333	309,333
家庭系	燃やせるごみ	t	53,906	53,731	52,120	50,067	49,431
	燃やせないごみ等	t	15,218	6,084	5,812	5,538	5,538
事業系ごみ		t	20,647	20,569	21,758	22,307	19,557
資源 収集量	行政収集	t	11,508	11,878	12,476	11,559	12,084
	集団回収	t	4,047	2,486	2,759	2,697	2,697
ごみ総排出量		t	105,326	94,748	94,925	92,169	89,308
1人1日当たりごみ排出量		g/人・日	799	707	699	690	660
1人1日当たり家庭系ごみ排出量		g/人・日	615	526	508	492	487

表 4-3 資源化率・ごみ処理費用の予測（目標達成時）

項目・年度		単位	実績値		継続		施策実施
					予測値		
			2010 (H22)	2017 (H29)	2023 —	2028 —	2028 —
資源化量	行政収集	t	11,185	11,117	11,811	10,976	12,084
	集団回収	t	4,047	2,486	2,759	2,697	2,697
クリーンセンター処理分		t	7,655	4,483	4,073	4,023	4,023
総資源化量		t	22,887	18,087	18,643	17,697	18,805
資源化率		t	21.7	19.1	19.6	19.2	21.1
1人当たりごみ処理経費		円	13,396	13,286	12,622	11,957	—

注）2017（平成 29）年度の 1 人当りごみ処理経費は平成 28 年度実績値。

頁

37

改正案

表 4-2 ごみ排出量の予測（目標達成時）

項目・年度		単位	実績値		継続		施策実施
					予測値		
			2010 (H22)	2017 (H29)	2023 —	2028 —	2028 —
計画収集人口		人	307,718	311,293	311,293	309,333	309,333
家庭系	燃やせるごみ	t	53,906	53,731	52,120	50,067	49,431
	燃やせないごみ等	t	15,218	6,084	5,812	5,538	5,538
事業系ごみ		t	20,647	20,569	21,758	22,307	19,557
資源 収集量	資源物	t	11,508	11,878	12,476	11,559	12,084
	集団回収	t	4,047	2,486	2,759	2,697	2,697
ごみ総排出量		t	105,326	94,748	94,925	92,169	89,308
1人1日当たりごみ排出量		g/人・日	799	707	699	690	660
1人1日当たり家庭系ごみ排出量		g/人・日	615	526	508	492	487

※行政収集を資源物へ変更しました。

表 4-3 資源化率・ごみ処理費用の予測（目標達成時）

項目・年度		単位	実績値		継続		施策実施
					予測値		
			2010 (H22)	2017 (H29)	2023 —	2028 —	2028 —
資源化量	資源物	t	11,185	11,117	11,811	10,976	12,084
	集団回収	t	4,047	2,486	2,759	2,697	2,697
クリーンセンター処理分		t	7,655	4,483	4,073	4,023	4,023
総資源化量		t	22,887	18,087	18,643	17,697	18,805
資源化率		t	21.7	19.1	19.6	19.2	21.1
1人当たりごみ処理経費		円	13,396	12,368	11,750	11,131	—

※行政収集を資源物へ、13,286 を 12,368 へ、12,622 を 11,750 へ、11,957 を 11,131 へ変更しました。

頁	現 行	改正案																																																								
39	<table> <tr> <th>Year</th> <th>行政収集 (t/年)</th> <th>集団回収 (t/年)</th> <th>クリーンセンター処理分 (t/年)</th> <th>資源化率 (%)</th> </tr> <tr> <td>2010 (H22)</td> <td>11,185</td> <td>4,047</td> <td>7,655</td> <td>21.7%</td> </tr> <tr> <td>2017 (H29)</td> <td>11,117</td> <td>2,486</td> <td>4,483</td> <td>19.1%</td> </tr> <tr> <td>2028 (予測)</td> <td>12,084</td> <td>2,697</td> <td>4,023</td> <td>21.1%</td> </tr> </table> 図 4-5 資源化率の目標達成時の予測 <table> <tr> <th>Year</th> <th>円/人・年</th> </tr> <tr> <td>2010 (H22)</td> <td>13,396</td> </tr> <tr> <td>2016 (H28)</td> <td>13,286</td> </tr> <tr> <td>2028 (予測)</td> <td>11,957</td> </tr> </table> 図 4-6 1 人当たりごみ処理費用の目標達成時の予測	Year	行政収集 (t/年)	集団回収 (t/年)	クリーンセンター処理分 (t/年)	資源化率 (%)	2010 (H22)	11,185	4,047	7,655	21.7%	2017 (H29)	11,117	2,486	4,483	19.1%	2028 (予測)	12,084	2,697	4,023	21.1%	Year	円/人・年	2010 (H22)	13,396	2016 (H28)	13,286	2028 (予測)	11,957	<table> <tr> <th>Year</th> <th>資源物 (t/年)</th> <th>集団回収 (t/年)</th> <th>クリーンセンター処理分 (t/年)</th> <th>資源化率 (%)</th> </tr> <tr> <td>2010 (H22)</td> <td>11,185</td> <td>4,047</td> <td>7,655</td> <td>21.7%</td> </tr> <tr> <td>2017 (H29)</td> <td>11,117</td> <td>2,486</td> <td>4,483</td> <td>19.1%</td> </tr> <tr> <td>2028 (予測)</td> <td>12,084</td> <td>2,697</td> <td>4,023</td> <td>21.1%</td> </tr> </table> 図 4-5 資源化率の目標達成時の予測 ※行政収集を資源物へ変更しました。 <table> <tr> <th>Year</th> <th>円/人・年</th> </tr> <tr> <td>2010 (H22)</td> <td>13,396</td> </tr> <tr> <td>2017 (H29)</td> <td>12,368</td> </tr> <tr> <td>2028 (予測)</td> <td>11,131</td> </tr> </table> 図 4-6 1 人当たりごみ処理費用の目標達成時の予測 ※2016 (H28) を 2017 (H29) へ、13,286 を 12,368 へ、11,957 を 11,131 へ変更しました。	Year	資源物 (t/年)	集団回収 (t/年)	クリーンセンター処理分 (t/年)	資源化率 (%)	2010 (H22)	11,185	4,047	7,655	21.7%	2017 (H29)	11,117	2,486	4,483	19.1%	2028 (予測)	12,084	2,697	4,023	21.1%	Year	円/人・年	2010 (H22)	13,396	2017 (H29)	12,368	2028 (予測)	11,131
Year	行政収集 (t/年)	集団回収 (t/年)	クリーンセンター処理分 (t/年)	資源化率 (%)																																																						
2010 (H22)	11,185	4,047	7,655	21.7%																																																						
2017 (H29)	11,117	2,486	4,483	19.1%																																																						
2028 (予測)	12,084	2,697	4,023	21.1%																																																						
Year	円/人・年																																																									
2010 (H22)	13,396																																																									
2016 (H28)	13,286																																																									
2028 (予測)	11,957																																																									
Year	資源物 (t/年)	集団回収 (t/年)	クリーンセンター処理分 (t/年)	資源化率 (%)																																																						
2010 (H22)	11,185	4,047	7,655	21.7%																																																						
2017 (H29)	11,117	2,486	4,483	19.1%																																																						
2028 (予測)	12,084	2,697	4,023	21.1%																																																						
Year	円/人・年																																																									
2010 (H22)	13,396																																																									
2017 (H29)	12,368																																																									
2028 (予測)	11,131																																																									

頁	現 行	頁	改正案
41	2 具体的な施策	41	2 具体的な施策
	3 Rの中でも2 R（発生抑制・再使用）を推進するために、積極的な情報提供や啓発を行うことや戸別収集の検討や処理手数料の適正化、事業系ごみの食品リサイクルを進めます。		3 Rの中でも2 R（発生抑制 <u>（リデュース）</u>・再使用 <u>（リユース）</u>）を推進するために、積極的な情報提供や啓発を行うことや戸別収集の検討や処理手数料の適正化、事業系ごみの食品リサイクルを進めます。
45	基本施策 2-3 資源化の促進	45	基本施策 2-3 資源化の促進
	■ <u>次期焼却施設における効率的なエネルギーの回収</u> <u>次期焼却施設では、廃棄物の燃料化等、効率的な熱エネルギーの回収により、光熱水費の削減を図ります。</u>		■ 効率的なエネルギーの回収 <u>老朽化が進んでいる焼却施設のあり方について、廃棄物の燃料化等、効率的な熱エネルギーの回収により、光熱水費の削減を検討します。</u>
	■ <u>生ごみのバイオガス化の検討</u> 生ごみは水気を多く含み、焼却にコストがかかるため、事業者の食品リサイクル施設へ搬入を促し、バイオガス化を推進します。		■ <u>生ごみのバイオガス化の促進</u> 生ごみは水気を多く含み、焼却にコストがかかるため、事業者が食品リサイクル施設へ搬入するよう促すことで、バイオガス化を推進します。
46	基本施策 2-4 適正なごみ分別の推進	46	基本施策 2-4 適正なごみ分別の推進
	（省略） ■ 危険物の収集体制の整備 ライター、カセットボンベなど発火ごみの収集方法について、収集から処分までの方法を調査、検討します。		（省略） ■ 危険物の収集体制の整備 ライター、カセットボンベなど発火ごみの収集方法について、収集から処分までの方法を検討します。
49	基本施策 4-1 施設の整備	49	基本施策 4-1 施設の整備
	（省略） ■ 施設事業手法の検討		（省略） ■ 施設事業手法の検討

頁	現 行	頁	改正案
51	PFI 注5-2（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）手法による効率的な事業手法を検討します。 ■クリーンセンター整備計画 施設規模や処理対象物など、施設のあり方について検討を行い、施設の老朽化に伴う、第1工場、第2工場の施設整備を行います。 3 計画の推進 本計画の推進には、市民・事業者・当市の三者が一体となった取組みが必要となります。このため、市民・事業者・当市が本計画のごみの現状、基本理念、基本施策、数値目標、ごみ排出抑制のための施策等を共有し、連携を図り、それぞれの役割と責任を果たすことが重要となります。また、計画を推進するに当たって、環境面と経済面などに配慮し施策の展開と達成状況を毎年点検・評価し、公表することが必要となります。	51	PFI 注5-2（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）手法による効率的な事業手法を検討します。 ■クリーンセンター整備 施設規模や処理対象物など、施設のあり方について検討を行い、施設の老朽化に伴う、第1工場、第2工場の施設修繕を行います。 3 計画の推進 本計画の推進には、市民・事業者・当市の三者が一体となった取組みが必要となります。このため、市民・事業者・当市が本計画のごみの現状、基本理念、基本施策、数値目標、ごみ排出抑制のための施策等を共有し、それぞれ連携を図りながら、それぞれの役割と責任を果たすことが重要となります。また、計画を推進するに当たって、環境面と経済面などに配慮し施策の展開と達成状況を毎年点検・評価し、公表することが必要となります。